

平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立大新小学校
作成日	平成28年 3月 7日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	健やかな体
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域で子どもを育てることが大切、地域の方々には、見守り隊や運動会、夏祭り等に参加、協力いただき大変感謝しています。 地域と学校、どちらの行事、催しにも参加しあい交流を深めるよう心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く最後までやりぬく、やさしく思いやりのある子どもに育てほしいと親としては思います。なかよし活動や道徳の授業を通して学んで欲しいです。 児童数が少ない中、他の学年とのつながりが出来るなかよし活動は、たくさんの方たちが出来る素晴らしい活動だと思います。 ゲーム、インターネットの普及により、人と会話する時間が少なくなった。機械は心を開かなくても向き合えるが、人は感情がないと対話できません。子どもらしい心を育てることが大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生方は、いろいろな工夫で授業をしてくれてありがたいです。 活字に親しみを持ち、色々な分野の本を読んで、想像力と理解力を養ってほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 何をするにも健康であってのことが、保護者も子どもも気をつけて生活することが大切です。 多少の怪我を恐れず、明るく元気で活発な、そして子どもらしい子どもに育てほしいです。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、学校だよりは、保護者以外の方々にも学校、子どもたちの事をよく分かってもらえる情報源で近所の方々とも会話が進みます。一つの行事をすることは、労力がいらしますが、地域の方々との交流は大切だと思います。 ホームページはホットなニュースが即見ることが出来、好評です。学校だよりも地域の方々にとって、学校の事がよく分かり良いですが、写真が少し見づらいです。 	<ul style="list-style-type: none"> なかよし活動は、低学年の子どもは上級生を尊敬し、上級生は下級生の面倒を見る大変良い活動です。6年生になったら、リーダーとして頑張ろうと思っている子どもが多いと思います。さまざまな行事を通して、感謝する気持ちを学習して欲しいと思います。 「なかよし」は実践的で素晴らしい活動です。異学年間で名前を呼び合う事は、仲間意識を強くします。年齢差の自然と表れる礼儀やリーダーの役割、団結する力も頼もしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究、研修会で、先生の指導力を高めていただいているのはありがたいと思います。学力も個人差があるので、学習補充も必要ですし、子どもが分からない時には質問しやすい学級であってほしいと思います。 子どもたちがどんな本(読みたい本)を希望しているか、子どもが授業内容を十分理解しているかを常に意識して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 食後の歯みがき習慣は、当たり前だけれど良いと思います。 「元気大作戦」は、夏休み、冬休みに生活リズムが崩れているので、休み明けにするのは、生活リズムを取り戻すのによい機会であると思います。 朝のマラソン、なわとび、陸上やミニバスケットの早朝練習の取組は、体力面はもちろんのこと規則正しい生活を送る要素になっていると思います。 「よく遊び、よく学ぶ」今も昔も変わらない名言だと思います。今は、遊びに工夫しない、外での遊び時間を持たない等遊びが足りない気がします。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方は、子どもたちとのふれあい活動や感謝の集い等喜んでくれるようでお礼を言われることもあります。保護者としても地域の方々にも協力いただき感謝しています。 地域の方々の温かい目ですごく感じられます。わが子、わが孫を見るような優しさがあります。 本年度行われた餅つき大会は、子どもたちのも大変好評で今後も続けていきたいと思っています。 お年寄りにとって、子どもたちとのふれあいは、何よりも楽しいひと時です。機会を増やしてほしい。 学校と地域の交流で、学校の先生方とは一般の地域の人たちにとってなじみが薄いです。地域の催しへの積極的な参加を望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、学校が楽しく、いじめもなく、みんながなかよしということが理想です。保護者も学校と協力して、理想の学校、学級づくりをめざしたいと思っています。 昔と違い子どもも親もやさしい先生を好む傾向にありますが、少し怖い存在の良いと思います。躰の面でも正しいことは有無を言わず身につけさせる方が良いと思います。学校と家庭とは、意を通じて行くべきです。愛情も忘れてはなりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の児童数が少ないので、先生の目が行き届いていると思います。子どもたちも授業をしっかり聞き、宿題も忘れないことが大切であると思います。 帰りの会前に、学習補充の時間を設けている。計算や漢字練習など、学力向上につながっている取組だと思います。 先生方が工夫を凝らし子どもたちに接し、授業を行っている態度に敬意を表します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがい等基本的な生活習慣は、学校だけでなく家庭でも積極的に取り組む必要があります。 病気になるのは仕方ないことですが、予防にどれだけ取り組むかが大事だと思います。 今の子どもが軟弱なのは、家庭での温室育ちの影響であると思います。その環境を直すのは、家庭の理解と協力であり、子どもに対して少しぐらいの強制は当然だと思います。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でできない体験、経験ができるよう、保護者も地域の方々のお力を借り、学校と協力して子どもたちの喜ぶ行事や活動をしていきたいと思っています。 「子どもは地域の宝である」と言われているように、地域でも積極的に子どもたちを見守り育てていく義務があります。そのためにも地域と先生方との連携、コミュニケーションが不可欠である。また、学校側が子どもたちを指導しやすい方向へ協力するよう努力を惜しんではならないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの保護者が、なかよし活動の素晴らしさを実感しています。このまま続けて欲しいです。 児童数が少ないので、行き届くという反面、先生も児童も視野が狭くなる恐れもあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも、保護者の目の届くところで勉強させ、子どものことをよく見ておくことが大切であると思います。 基礎的な学力を身につけるために、読書はとても大切です。「朝の10分読書」など、うちどく以外にもたくさん本を読む機会を作ってみてはどうかと思います。 性格の差もあると思いますが、積極的な子どもと引っ込み思案なおとなしい子どもが当然ありますが、発言したり、質問したりする子、しない子、理解できているか、いないのかが判断のむずかしいところではないでしょうか。まず、人前で発言できる指導をお願いしたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 早寝、早起き、朝ごはんなど学校の指導だけでは達成できないことが多いです。各家庭にたより等でいろいろな知識を持ってもらえるよう積極的に協力を求めていくことが大切です。 勉強でも運動でも「スパルタ」という厳しい教育法がありました。そのお蔭で泳げるようになったり、骨格も強くなったりしました。今の時代には合わないかもしれませんが、何か少し取り混ぜて活用する意義がある気がします。

3 其他のご意見

・保護者アンケートの回収率が上がるよう、アンケートを工夫する必要があると思います。
 ・自分の子どもの学年以外の方が分かりにくいと思います。学級だよりを他学年にも配布するなどしてもよいのではないかと思います。
 ・身近で高校生の不登校、大人の引きこもりを聞くようになりました。学力も大切ですが、学力だけでは生きていけないように思います。大きくなるにつれ、人間関係も大切になってくるし、生きる力が重要になってくると思います。これからは、このような問題もしっかり考えないといけないと思います。
 ・「開かれた学校」として地域との連携を密にする意味でも、学校の行事はもとより、地域のイベント、催しにも学校ぐるみでの参加を望みたいです。学校の先生の存在は、一般の人々にとってある種特別で、地域の中に溶け込むことは意義深いものがあり、親密度は一気に近づきます。子どもは地域の宝で、学校は地域の象徴です。大切な宝をあずかっていただき、日頃の学校、先生方のお世話に感謝し、また、地域の事柄に気づく点がありましたら遠慮なくお申し出ください。